

ご挨拶

滋賀医科大学消化器・血液内科同門会の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。この度、令和4年10月1日付けをもちまして、滋賀医科大学医学部医学科内科学講座血液内科教授ならびに血液内科診療科長を拜命いたしました。一言ご挨拶を申し上げます。

私は平成4年に名古屋大学医学部を卒業後、名古屋第一赤十字病院（現、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）で2年間の全科ローテーション研修を受けました。その際、「骨髄移植後に再発した白血病が、投与していた免疫抑制剤を減量しただけで、再び寛解に入った症例」を経験し、血液内科とくに造血幹細胞移植の魅力に惹きつけられました。その後平成10年半ばまで、同病院で内科全般および血液内科の診療に従事しました。当時その病院の血液内科入院患者数は常時80名を超えており、主要な血液疾患のほぼ全てを比較的短期間のうちに経験できたことは大変幸運でした。

平成11年に名古屋大学大学院に入学しましたが、研修医時代に興味を持ちました移植免疫学を学ぶため、翌年から米国シアトルにあるフレッド・ハッチンソン癌研究センターへ留学いたしました。移植後に移植片対宿主病（GVHD）を発症した患者さんの末梢血から、同種抗原特異的なドナー由来細胞傷害性T細胞クローンを分離し、その標的遺伝子ならびに抗原ペプチドを同定するプロジェクトに参加しました。平成15年に帰国し学位を取得したのちは、名古屋大学病院における造血幹細胞移植チームの立ち上げ、移植・免疫療法に関する基礎研究と臨床研究、20余名の大学院生の学位取得などに携わって参りました。

今後、滋賀医科大学におきましては、最新の治療法を遅滞なく導入し、一人一人の患者さんの気持ちに寄り添い、それぞれの患者さんにとって最適な治療を提供してまいります。また、滋賀県をはじめ国内外で活躍し、次世代を担うリーダーとなる血液内科医/研究者を育成します。そして血液内科学の発展に寄与する研究成果の発信をめざします。

内科学第二講座開設以来、細田四郎先生、馬場忠雄先生、藤山佳秀先生、安藤朗先生ら歴代の教授を始めとする諸先輩方が心血を注いで築いてこられた滋賀医科大学血液内科をより一層発展させるべく、精一杯努めて参ります。ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年10月

村田 誠